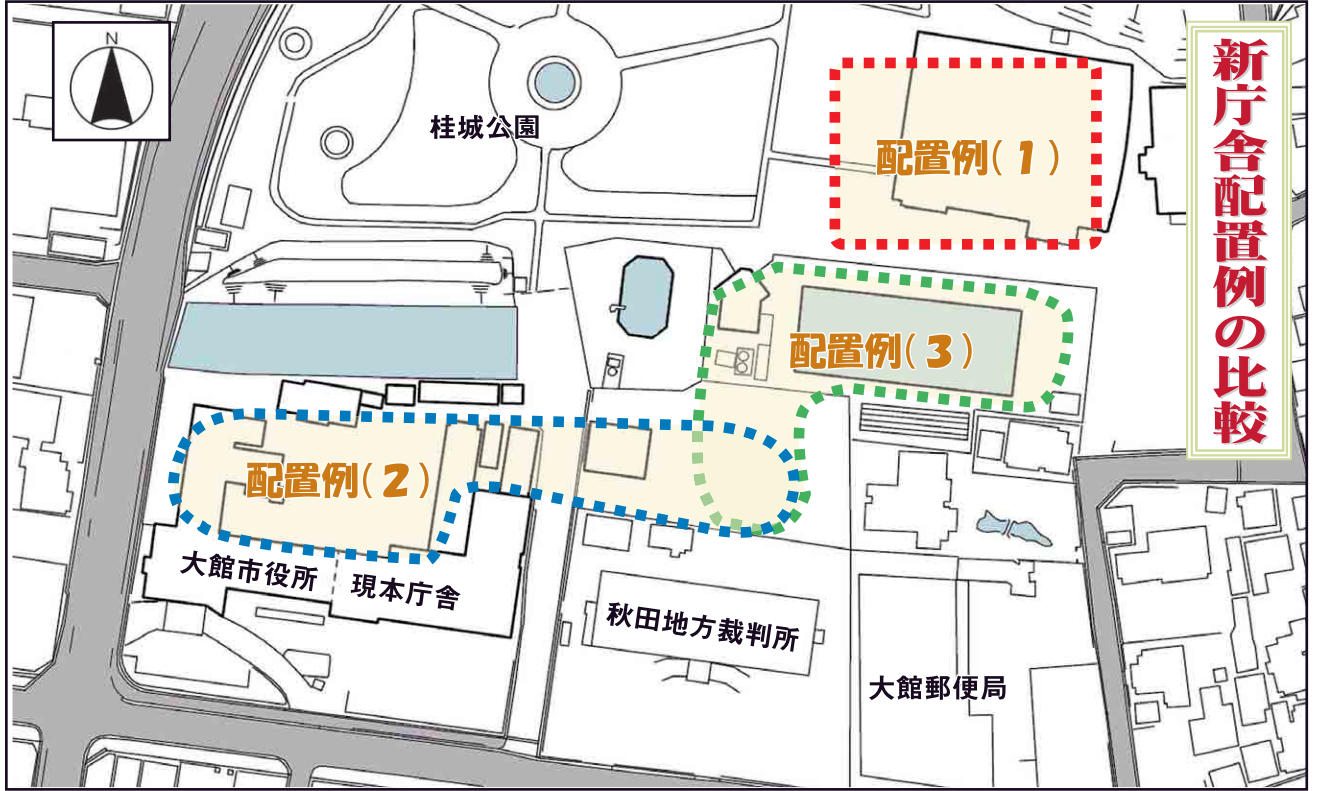


# 新庁舎配置例の比較



◎これまでの市議会特別委員会での審議を経て、庁舎の建設場所は、この3案に絞られています。

## 配置例(1)

### 概要

想定階数	地上4階建
想定建築面積	25000㎡
延床面積	70000㎡
駐車台数	2200台
総事業費	46億5千万円
庁舎	35億3700万円
プール等	11億1300万円

### メリット

- 仮設庁舎を必要としない。
- 現庁舎を解体後、敷地を多目的に利用できる。
- 新庁舎に隣接したバス停の設置が可能。

### デメリット

- プール等の早期解体・移設が必要。
- 主要道路から離れるため、敷地内道路や案内表示などの整備が必要。
- 建設位置によっては、北側住宅地に日影ができる。

## 配置例(2)

### 概要

想定階数	地上3階建
想定建築面積	32000㎡
延床面積	70000㎡
駐車台数	2100台
総事業費	33億5千万円

### メリット

- 主要道路に接しているので利便性が良い。
- 商業地域内の建設のため、日陰など周囲への影響が少ない。
- プール等の解体を必要としない。

### デメリット

- 建築基準法上、3階建てが限度である。
- 東西に長い建物になるため、来庁者の移動負担が大きい。
- 公園への動線が建物内を通る。

## 配置例(3)

### 概要

想定階数	地上4階建
想定建築面積	27000㎡
延床面積	70000㎡
駐車台数	2750台
総事業費	46億5千万円
庁舎	35億3700万円
プール等	11億1300万円

### メリット

- 仮設庁舎を必要としない。
- 現庁舎を解体後、敷地を多目的に利用できる。
- 公園、北・東側住宅地への影響が少ない。

### デメリット

- プール等の早期解体・移設が必要。
- 建設可能な敷地が変形している。
- 主要道路から離れるため、敷地内道路や案内表示などの整備が必要。

### その他の候補地の検討結果(懸念事項等)

#### 大館桂高等学校敷地

- 市役所として使用できるのは、管理棟と教室棟が建っている敷地のみで、他の敷地は統合新高校が使用する。
- 老朽化が著しく、多額の改修費用等が必要。

#### 田町野球場

- 防災拠点施設としての機能を考えた場合、洪水ハザードマップでの浸水想定区域がすぐ近くまで迫っている。
- 敷地が狭いため、庁舎の高層化が必要で建設費用が高くなる。
- 別に駐車場の確保が必要。

#### 旧正札竹村

- 敷地が狭いため、庁舎の高層化が必要で建設費用が高くなる。

#### 旧ジャスコ跡地

- 民有地のため、地権者との交渉に時間を要するほか、多額の土地取得費が必要。
- 大館駅前旧小坂鉄道跡地
- 敷地が横長で、庁舎整備の自由度が小さい。
- 来客用などの駐車スペースが限られる。